



softproofing made easy ... by [lacunasolutions.com]



# SPECTRA PROOF

First Reference



[www.cgsjapan.com](http://www.cgsjapan.com)

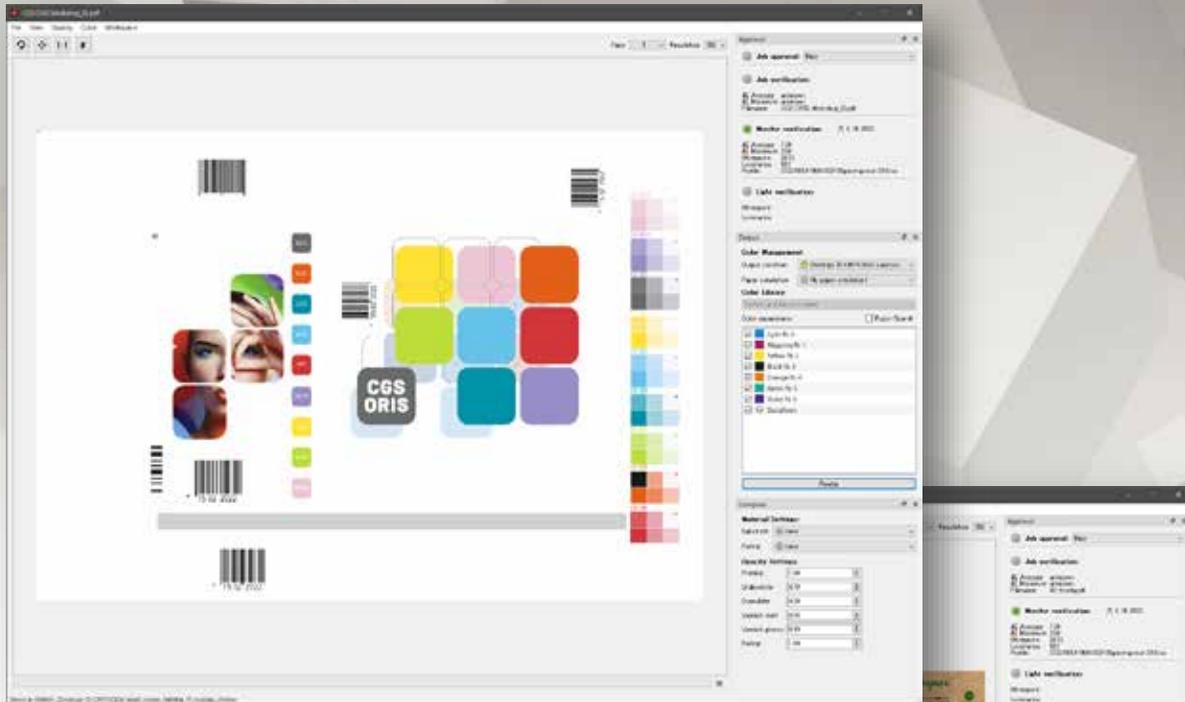


## SPECTRA PROOFは…

パッケージデザインに必要な確認事項を、材料や時間のロスなくディスプレイ上で確認できるソフトプルーフシステムです。

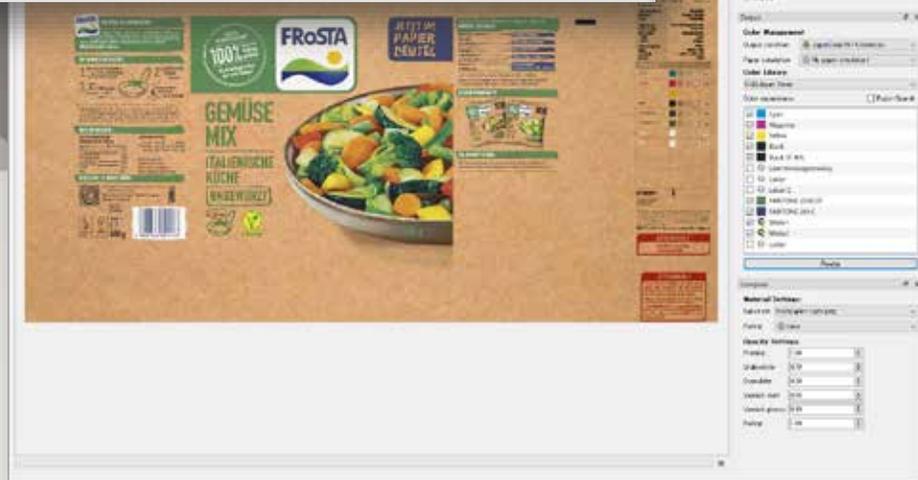
標準装備のLEDライトやディスプレイを検証/キャリブレーションを行い一貫した環境をキープ。

さらにジョブの表示色も測定/検証しながら運用ができます。



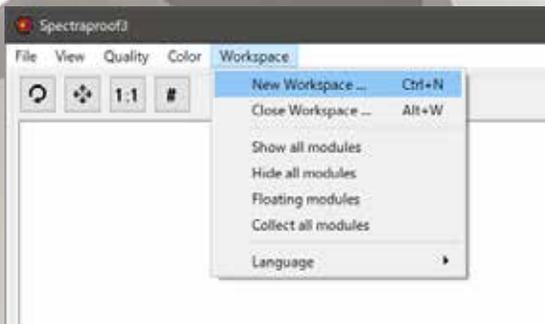
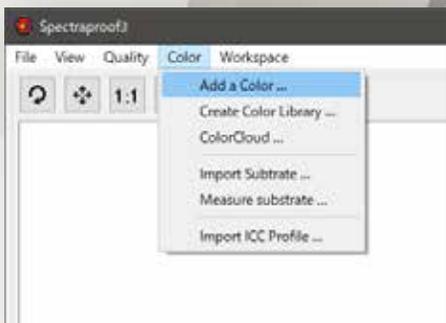
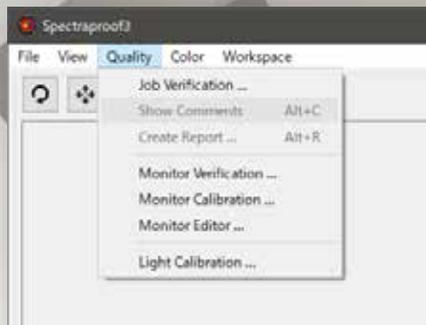
## SPECTRA PROOFは…

マルチカラーICCプロファイルを使用した  
スポットカラーのシミュレーションが可能  
になり、より正確に色調、印刷基材、  
加飾効果のシミュレーションが行えます。



画像として取り込んだ印刷基材上にシ  
ミュレーションを表示しながら、白イン  
キ・ニス・箔加工などの特殊レイヤーの  
効果をチェックすることができます。

ジョブを各種条件を含めてエクスポート  
し、遠隔地でも同じ条件下でプルーフ  
チェックができます。



## 主な機能

- ・ソフトウェアキャリブレーション
- ・LEDランプキャリブレーション
- ・ディスプレイベリファイ (検証)
- ・マルチカラーICCプロファイル対応
- ・スポットカラーシミュレーション
- ・ジョブベリファイ (検証)
- ・ペーパーホワイト (紙白) シミュレーション
- ・サブストレート (基材) シミュレーション
- ・白/加飾レイヤーの表示コントロール
- ・ジョブへのコメント/認証機能
- ・プルーフ結果のレポート作成機能
- ・マスター/ビューワーのライセンス区分あり



## 基本パッケージ

- ・ SpectraProofソフトウェア (Windows / Mac)
- ・ 専用ディスプレイフード
- ・ 専用 LEDライトソース
- ・ アカウント2種
  1. SpectraProof (フルライセンス)
  2. SpectraProof ViewingClient (ビューワー)

※ 別途必要なもの

- ・ 環境光の測定できる分光測色機
- ・ ハードキャリブレーションのできるディスプレイ  
【 EIZO / BenQ 製をメーカーは推奨 】

注: Spectra Proofはシミュレーション用のターゲットICCプロファイルを作成できません。

# セットアップ #1

1)

ディスプレイのハードキャリブレーション

- EIZO Color Navigator
- BenQ Palette Master Element
- 160cd/m<sup>2</sup> & 5000K

◇以降の作業とつなげるため、i1Pro3など外部測色機の使用を推奨

ColorNavigator 7  
ColorEdge CG279X(41409032)

モニター設定 ▼ ツール ▼ 補正設定...

カラーモード	目標
1 User	STD
2 BT.2020	STD
3 BT.709	STD
4 DCI	STD
5 PQ_DCI	STD
6 PQ_BT.2100	STD
7 HLG_BT.2100	STD
8 Adobe RGB	STD
9 sRGB	STD
10 CAL	ADV

目標: Spectraproof D50

	目標	結果
輝度	160 cd/m <sup>2</sup>	160.2 cd/m <sup>2</sup>
黒レベル	最小値	0.47 cd/m <sup>2</sup>
コントラスト比		340 : 1
白色点	5000 K	x: 0.3455 y: 0.3585 4999 K
ガンマ (EOTF)	L*	
調整方法	グレイバランス重視	
色域	Native	
R		x: 0.6820 y: 0.3130
G		x: 0.2152 y: 0.7195
B		x: 0.1519 y: 0.0453
色域クリッピング	オフ	
調整日時	2023-03-10 10:58	

あとモニターを12時間使うと調整が実行されます。

キャリブレーション... 高度な機能 ^ 閉じる

## セットアップ#2

2-1)

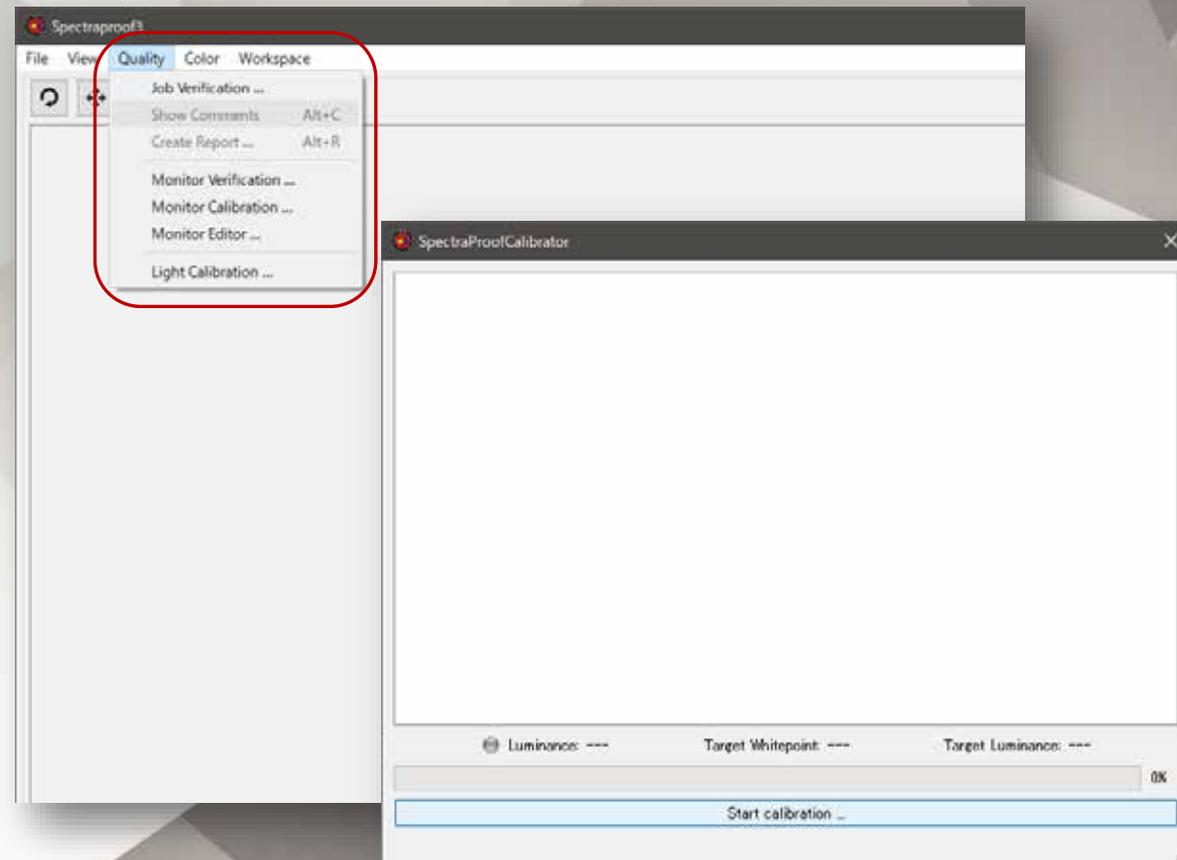
ディスプレイのソフトキャリブレーション

- ・ Quality→Monitor Calibration
- ・ ハードキャリブレーションを基にさらに調整

2-2)

ディスプレイの検証

- ・ Quality→Monitor Verification
- ・ 結果が表示され、現環境を確認できる



 **Monitor verification:** 火 3 14 2023

dE Average: 1.34  
dE Maximum: 2.64  
Whitepoint: 5033  
Luminance: 502  
Profile: CG279X(41409032)10Spectraproof D50.icc

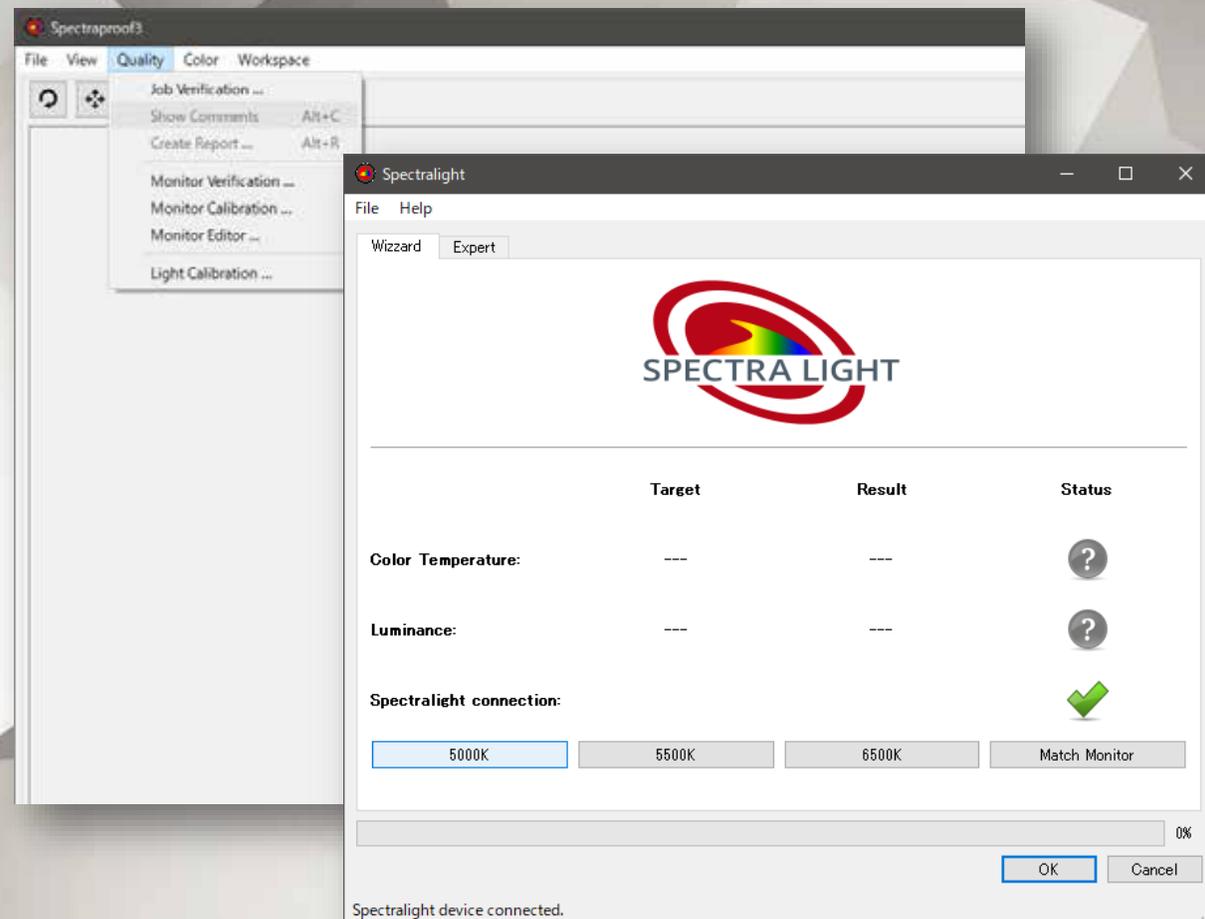
## セットアップ#3

3)

ライトソースのキャリブレーション

- ・ Quality→Light Calibration
- ・ LEDランプをキャリブレーション
- ・ 5000K目標

◇ アンビエント測定のできる測色機が必要



# ワークフロー #1

PDFファイル展開と特色版の表示管理

- Color Libraryを使用して特色版を認識  
≡スウォッチブック

- 【?】表示の特色版は正しく表示されない

- 【☑】で表示の On/Off が可能

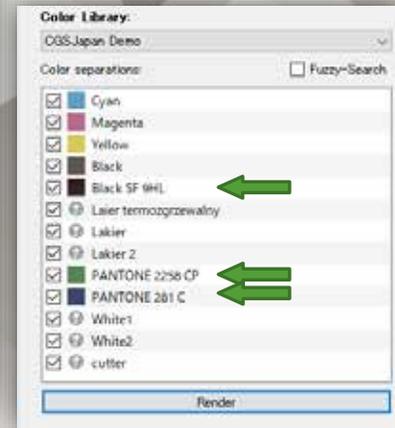
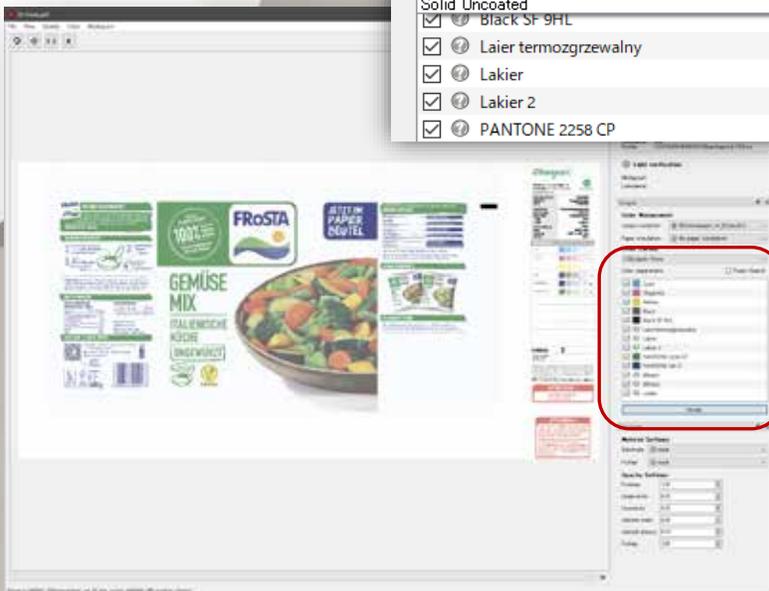
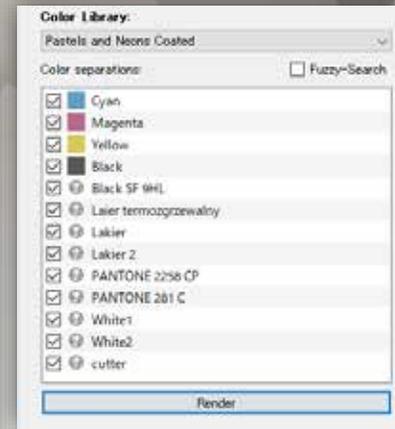
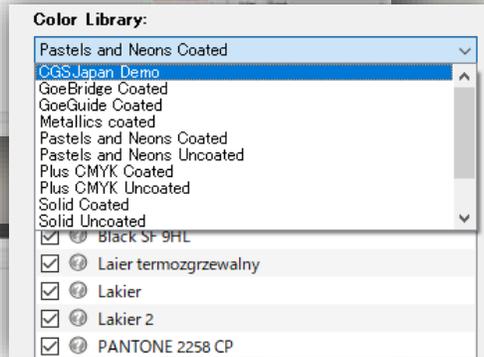
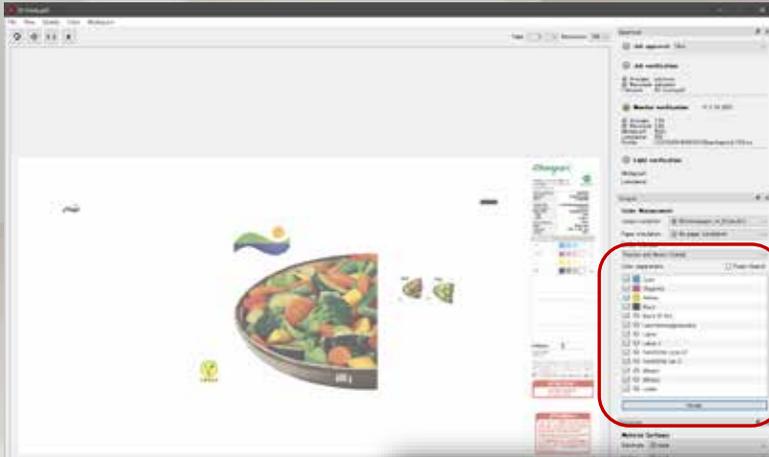
- ◇各版に手動で特色を指定可能

- ◇白インク、加飾効果も版別に指定可能

- ◇新規カラーライブラリの作成可能

- ◇既存ライブラリへの特色追加可能

- Lab値入力、測色、CxFインポート可能





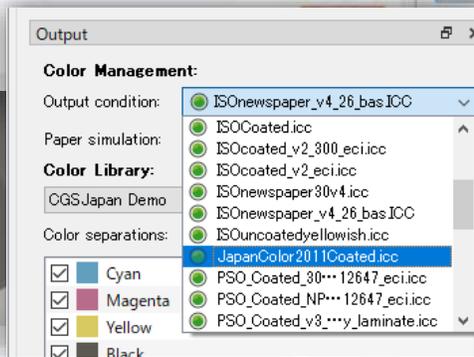
## ワークフロー #2

出力プロファイルを選択し表示を最適化

- Output ConditionでICCプロファイルを選択

- 【Use Embedded Profile】でPDFの埋込プロファイルを使用可能

- 外部ICCプロファイルのインポート可能



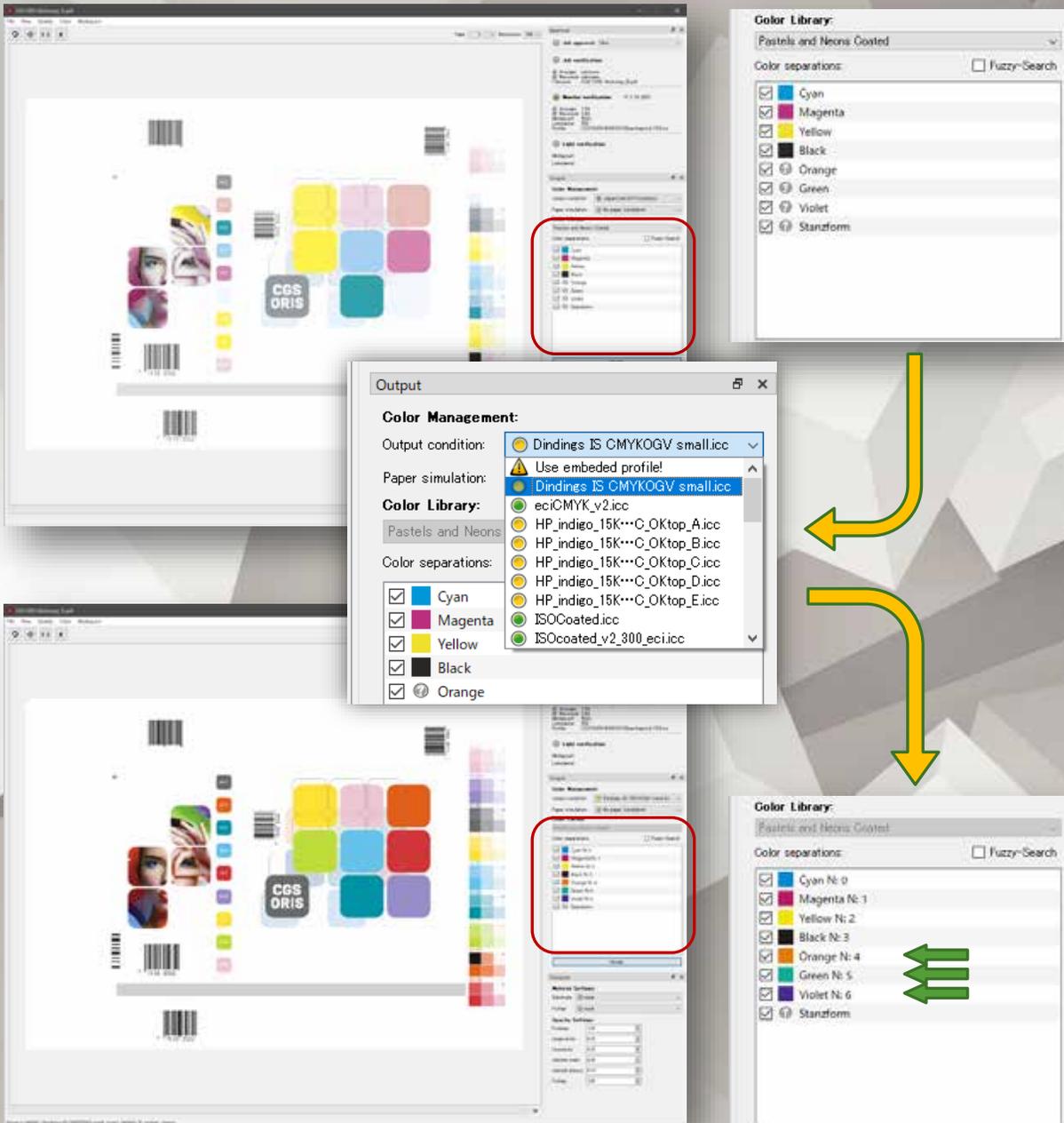
## ワークフロー #2' マルチカラー

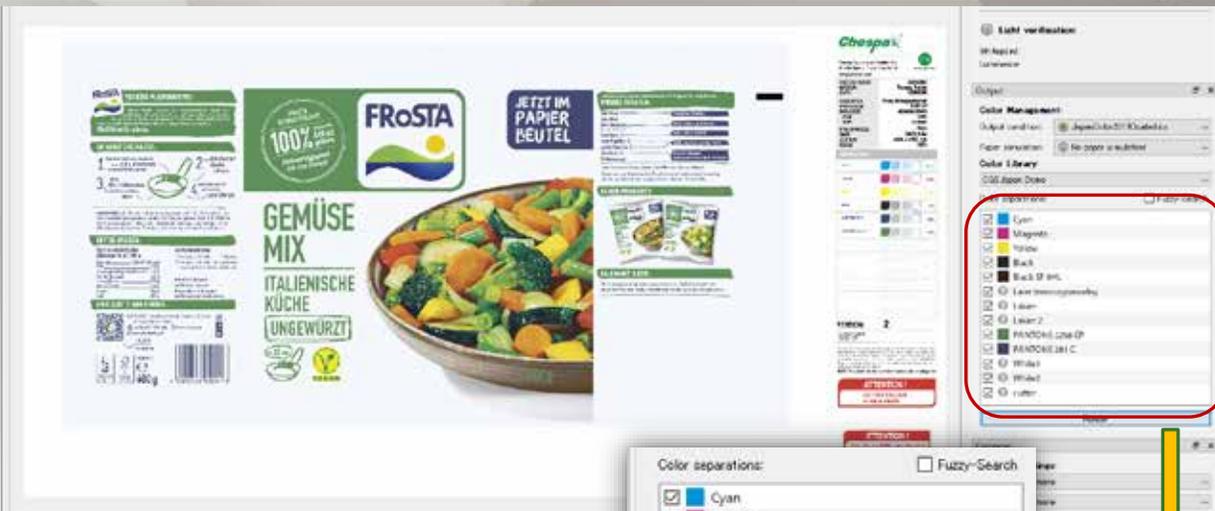
マルチカラーICCプロファイルを選択する

- ・ Output ConditionでマルチカラーICCプロファイルを選択

- ・ 自動認識された色版には【N:0~】の番号が振られる

- ・ マルチカラーICCプロファイルを指定時にはカラーライブラリが無効になる

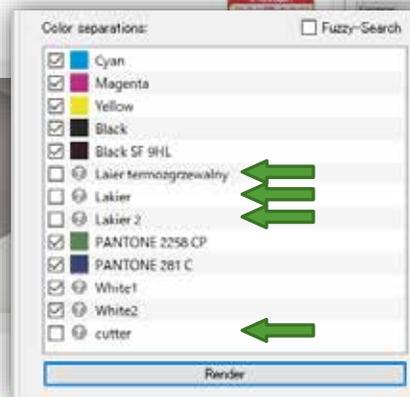




### ワークフロー #3

特色版の表示を確認 / 変更

- ・表示上不要な版は、Color Separation上の【】で表示の On/Off が可能





## ワークフロー #4

紙白のシミュレーションを設定

- Paper Simulationでシミュレーションする紙白タイプを選択
- 【Use output Condition】  
→ 選択された出カプロファイルの紙白
- その他プリセットされた紙白情報でシミュレーション可能
- 測色機で測定した数値を紙白情報として追加可能

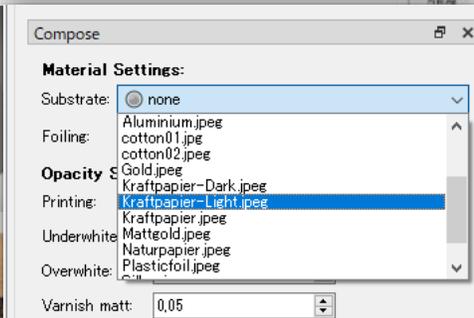
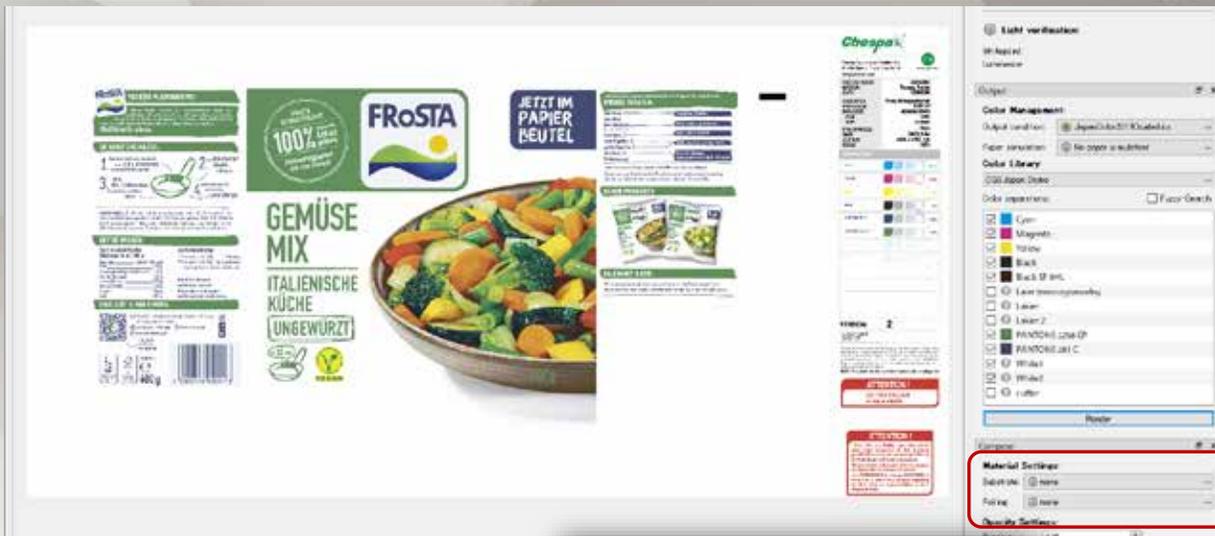
## ワークフロー #5

印刷基材（サブストレート）の表示

- Material Setting → Substrateから設定

- 前述の「紙白シミュレーション」とは別に、印刷基材の画像データを背景に配置

- 実際に基材を撮影/スキャンしたjpegファイルをプリセットに追加可能

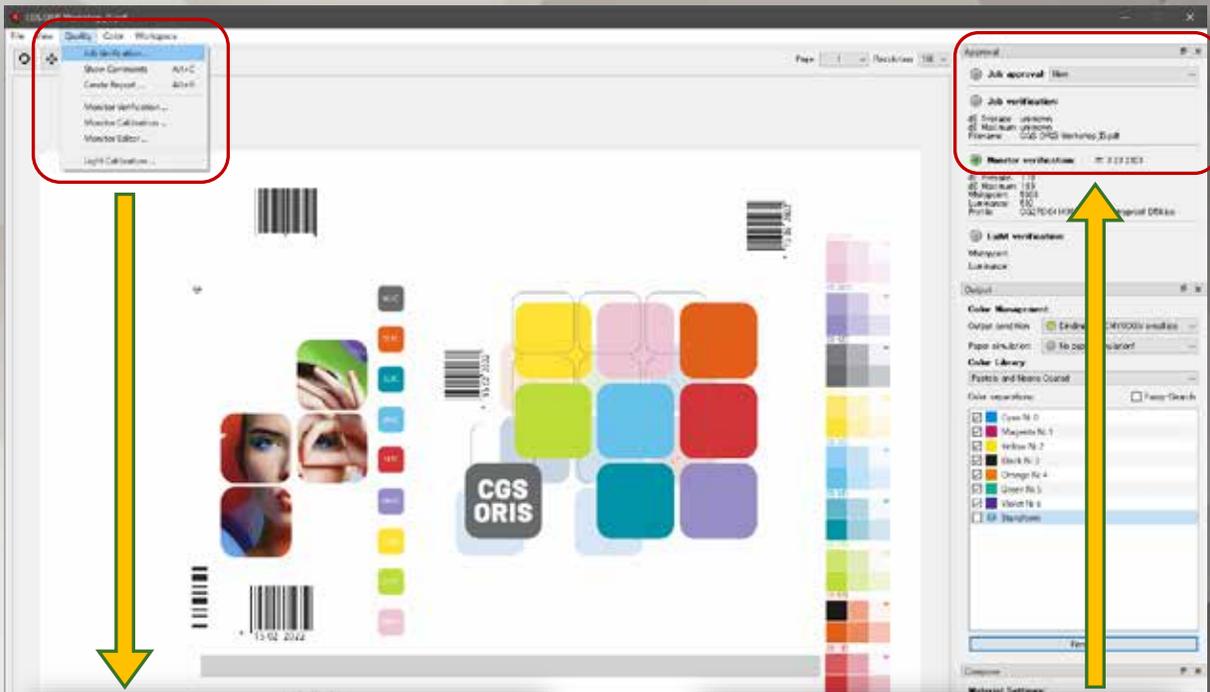




## ワークフロー #6

白 / 加飾用版の表示を調整

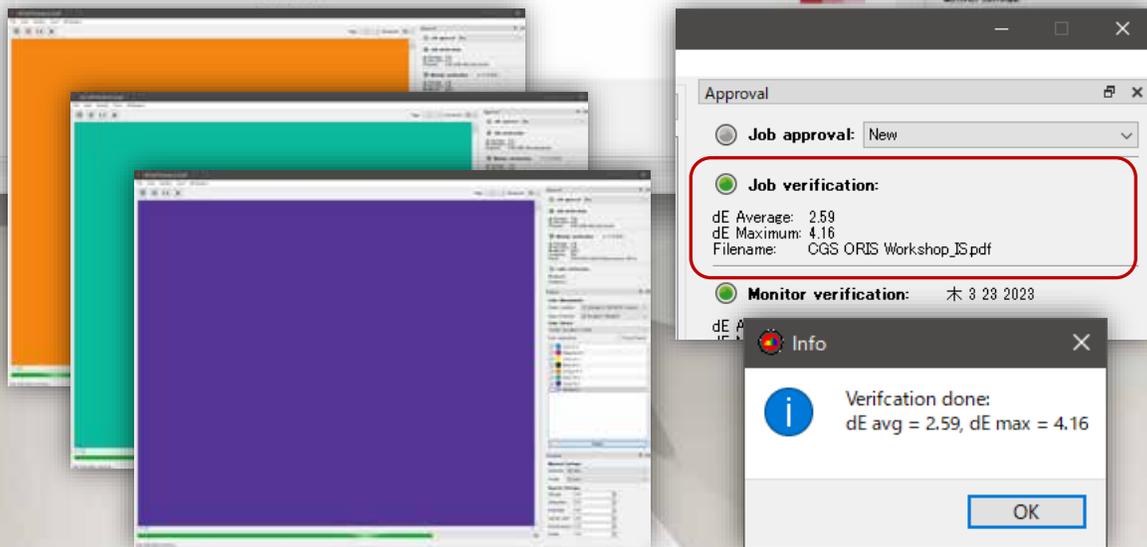
- Color Separationから設定
- 変更したい版を右クリック、紐づきたい効果を設定
- 白インク/ニス/箔などを後付け指定可能
- Opacity Settingsで濃度や効果の強弱を変更可能

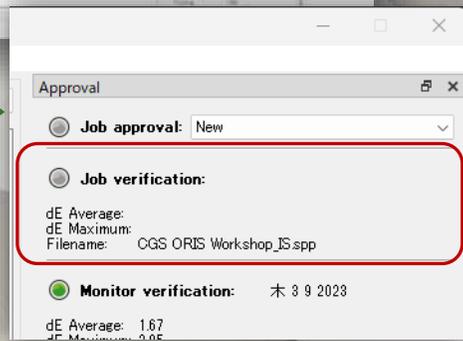
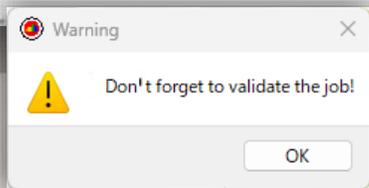
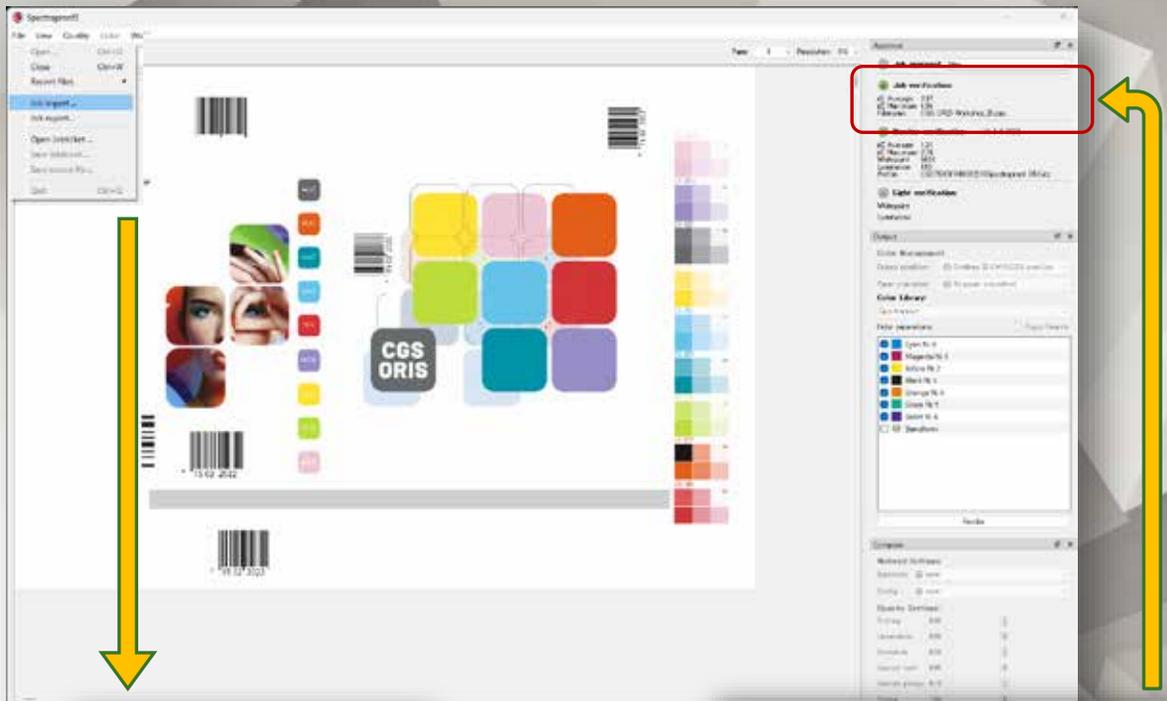


## ワークフロー #7

ジョブプレビューの表示精度を検証する

- ・メイン/ビューワー共通
- ・Quality → Job Verificationを選択
- ・CMYK+特色の表示を実測して品質を検証
- ・平均/最大 $\Delta E$ で評価
- ・マルチカラーICCプロファイルを設定しているときは対応したカラーチャンネルを検証





## ワークフロー #8

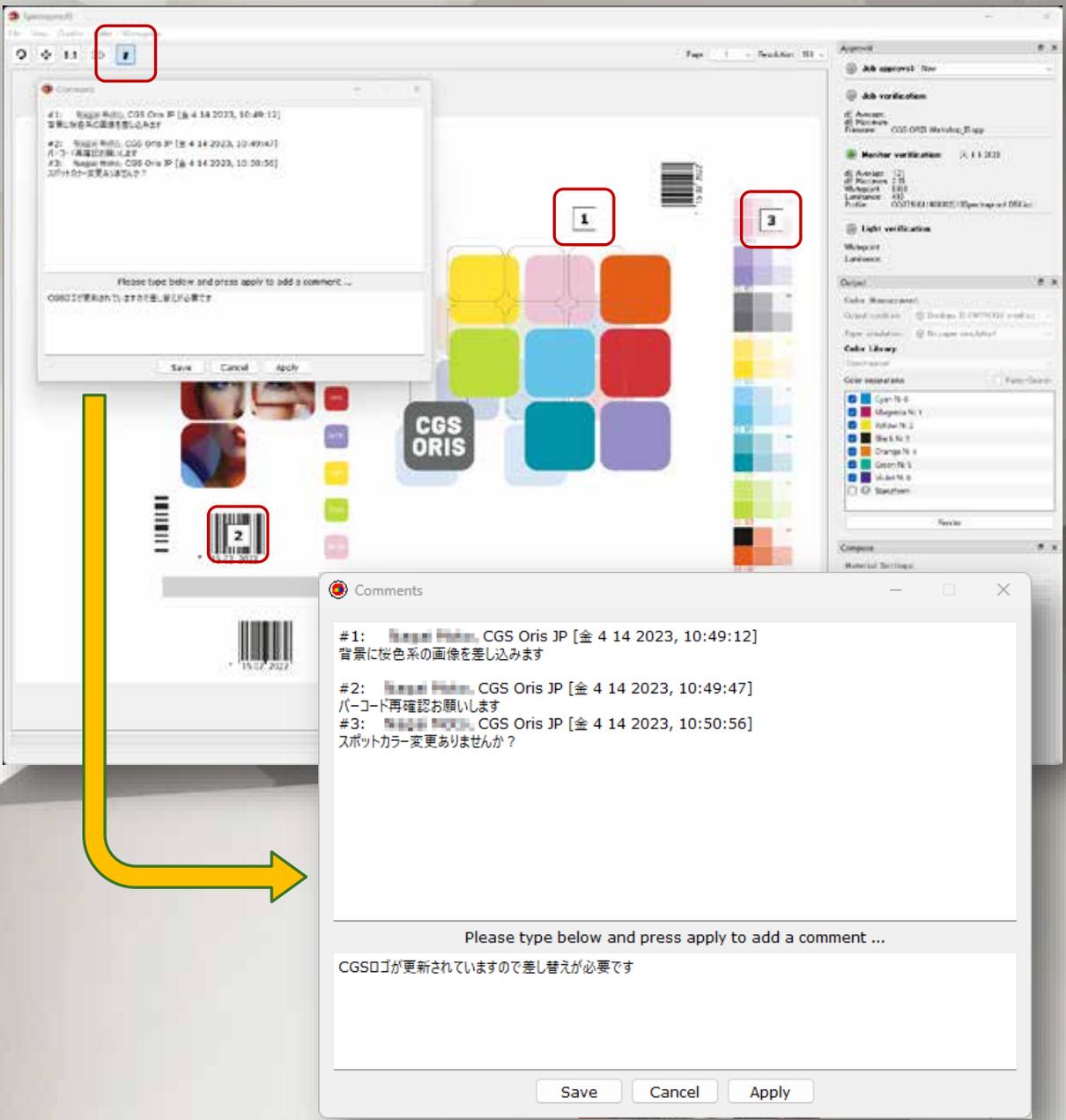
ビューアーにジョブをインポートする

- ・メイン/ビューアー共通
- ・設定完了後 File → Job Export
- ・File → Job Import
- ・【Job Verification】を実行し検証
- ・レポート作成

※ビューアーでも予めモニタ / ライトのキャリブレーションが必要

※同じ ICC プロファイル / カラーライブラリ / サブストレート画像の共有が必要

※ビューアーライセンスでは Job Verification / コメント機能 / レポート作成 以外のジョブ関連操作は不可



# ワークフロー #9

ジョブにコメントをつける

- ・メイン/ビューワー共通
- ・【#】 ボタンからウィンドウにコメントを入力
- ・コメントはナンバーバッジと紐づいてジョブ上に表示
- ・レポートにもコメント欄が挿入される
- ・Exportして次のアカウントへ

※コメントウィンドウを閉じるとナンバーバッジも非表示化される (【#】 で再表示)

**Viewing report:**  
 File: 01-mockupz.pdf  
 大 6 20 2023 11:11:26  
 Status: Viewing conditions are ok.



**Sender information:**  
 Company: CGS Oris JP  
 Contact: Moto Nagai  
 E-Mail: moto.nagai@cgsjapan.com

**Receiver information:**  
 Company: CGS Oris JP  
 Contact: Moto Nagai  
 E-Mail: moto.nagai@cgsjapan.com

**Address:**  
 Street:  
 007 Tokyo  
 Japan

**Viewing conditions:**  
 Date: 大 6 20 2023  
 Monitor: 0.68 dEavg 1.84 dEmax  
 Job: 0.72 dEavg 1.76 dEmax  
 Whitepoint: 4999  
 Luminance: 504  
 System: Windows

**Printing conditions:**  
 Output condition: JapanColor2011Coated.icc  
 Printing substrate: Use output condition!

**List of color separations:**

Color	RGB	Target	Result	dEaE00
Cyan	7 153 217	54.52 -11.20 -50.49	54.97 -11.69 -49.31	0.60
Magenta	188 48 126	46.55 78.35 -4.40	46.51 75.23 -4.98	0.23
Yellow	240 225 48	86.76 -5.98 93.36	86.65 -6.11 94.17	0.38
Black	44 40 36	16.80 2.21 2.07	16.09 1.98 2.53	0.96
ORIS P Yellow C	230 223 8	80.18 -3.87 105.18	87.66 -5.20 102.98	1.76
ORIS P Mag C	110 93 277	42.81 39.68 -44.84	42.07 26.43 -45.34	0.77
ORIS P Cyan C	71 182 118	64.84 -72.64 25.30	63.38 -73.23 23.80	1.29
ORIS P Blk C	35 111 294	42.80 -3.60 -51.53	42.15 -3.78 -56.26	0.67

**Comments for page number: 1**





#1: Nagai Moto, CGS Oris JP [大 6 20 2023, 10:53:07]  
 7480C -> 7780C  
 #2: Nagai Moto, CGS Oris JP [大 6 20 2023, 10:53:36]  
 Change LOGO  
 #3: Nagai Moto, CGS Oris JP [大 6 20 2023, 10:54:53]  
 写真を高画質(ドット)に差し替えてください

# ワークフロー #10

## レポートPDFの発行

- メイン/ビューワー共通
- Quality → Create Reportを選択
  - ◇ ICCプロファイルなど基本パラメータの表示
  - ◇ Job Validation結果
  - ◇ Monitor Validation結果
  - ◇ データ内各色の表示測定結果
  - ◇ コメント一覧
- ジョブデータとレポートを併せることで、プルーフ環境/機器コンディションの確認を簡単に！

# SPECTRA PROOF フローマップ

## マスターアカウント

1. モニタとLEDランプのキャリブレーション
2. Monitor Verification
3. ジョブへの ICC・紙白・色版・基材の設定と確認
4. Job Verification
5. コメント作成
6. Job + Report Export

## ビューワーアカウント #A,#B …

7. モニタとLEDランプのキャリブレーション
8. Monitor Verification
9. Job Import
10. Job Verification
11. コメント確認 & レポート作成
12. Job + Report Export

